

2016年3月17日

お知らせ

東燃ゼネラル石油株式会社  
問合せ先:  
EMG マーケティング合同会社  
広報渉外統括部  
TEL:03-6713-4400

### 東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門新選考委員について

東燃ゼネラル石油株式会社(本社:東京都港区、社長:武藤潤)は、このたび日本音楽研究をご専門とされる加納マリ先生に東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門選考委員をお願いすることになりましたのでお知らせします。

この結果、2016年の東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞受賞者選考に携わる委員の方は以下の通りとなります。

#### 東燃ゼネラル児童文化賞

松居 直(まつい ただし)先生(児童文学者)  
野上 暁(のがみ あきら)先生(児童文化研究家)  
仲居 宏二(なかい こうじ)先生(教育教養放送コンサルタント)

#### 東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門

徳丸 吉彦(とくまる よしひこ)先生(音楽学)  
塚原 康子(つかはら やすこ)先生(東京藝術大学教授)  
加納 マリ(かのう まり)先生(日本音楽研究)

#### 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門

関根 礼子(せきね れいこ)先生(音楽評論家)  
中村 孝義(なかむら たかよし)先生(学校法人大阪音楽大学理事長)  
諸石 幸生(もろいし さちお)先生(音楽評論家)

東燃ゼネラル児童文化賞及び東燃ゼネラル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。

1966年に創設された児童文化賞は、今年で51回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知

られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

1971年に創設された音楽賞は、今年で46回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに21人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点をおいた選考を行っている点がこの賞の特色です。

以上

添付資料： 新任選考委員のプロフィール

#### 東燃ゼネラルグループについて

エッソ、モービル、ゼネラルのサービスステーションを全国に展開する当グループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心に、原油の調達、石油・石油化学製品の生産・販売、電力供給などを行っています。環境負荷の低減に取り組みつつ、エネルギーの安定供給と優れた製品・サービスの提供を通じて、活力ある社会の発展に貢献したいと考えています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。<http://www.tonengeneral.co.jp>

(添付資料)

### 新任選考委員のプロフィール

#### 音楽賞邦楽部門 新選考委員

加納 マリ(かのう まり) 先生

日本音楽研究

1947年生。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科(音楽学専攻)修了。武蔵野音楽大学講師。  
日本音楽史を専門に、雅楽、地方の舞楽、長唄、胡弓などを研究。文化庁芸術祭審査委員(音楽)、文化庁「次代を担う子どもの芸術体験事業」企画委員(伝統芸能)、文化庁芸術選奨選考委員(音楽)、国立劇場邦楽公演専門委員などを務める。